

1. 河内長野市 ; コミュニティタイムラインの作成
2. 柏原市 ; ため池の治水活用について
3. 大阪狭山市 ; 防災力強化を図る安全・安心セミナーの実施
; 立地適正化計画における防災指針の作成

取組内容 地域の状況などについて話し合い、コミュニティタイムラインを作成。

地域版ハザードマップの作成とともに、台風時など取るべき防災行動や避難のタイミングを記載した「コミュニティタイムライン」を作成しました。



ワークショップを実施し、地域内の危険箇所や過去の災害発生場所、避難経路などの情報の整理を行った。



地域の皆さんと一緒にワークショップで整理した情報の現地確認を行った。

取組内容 原川への流入水路での洪水対策のために、流入水路上流ため池の余水吐きを改良した。

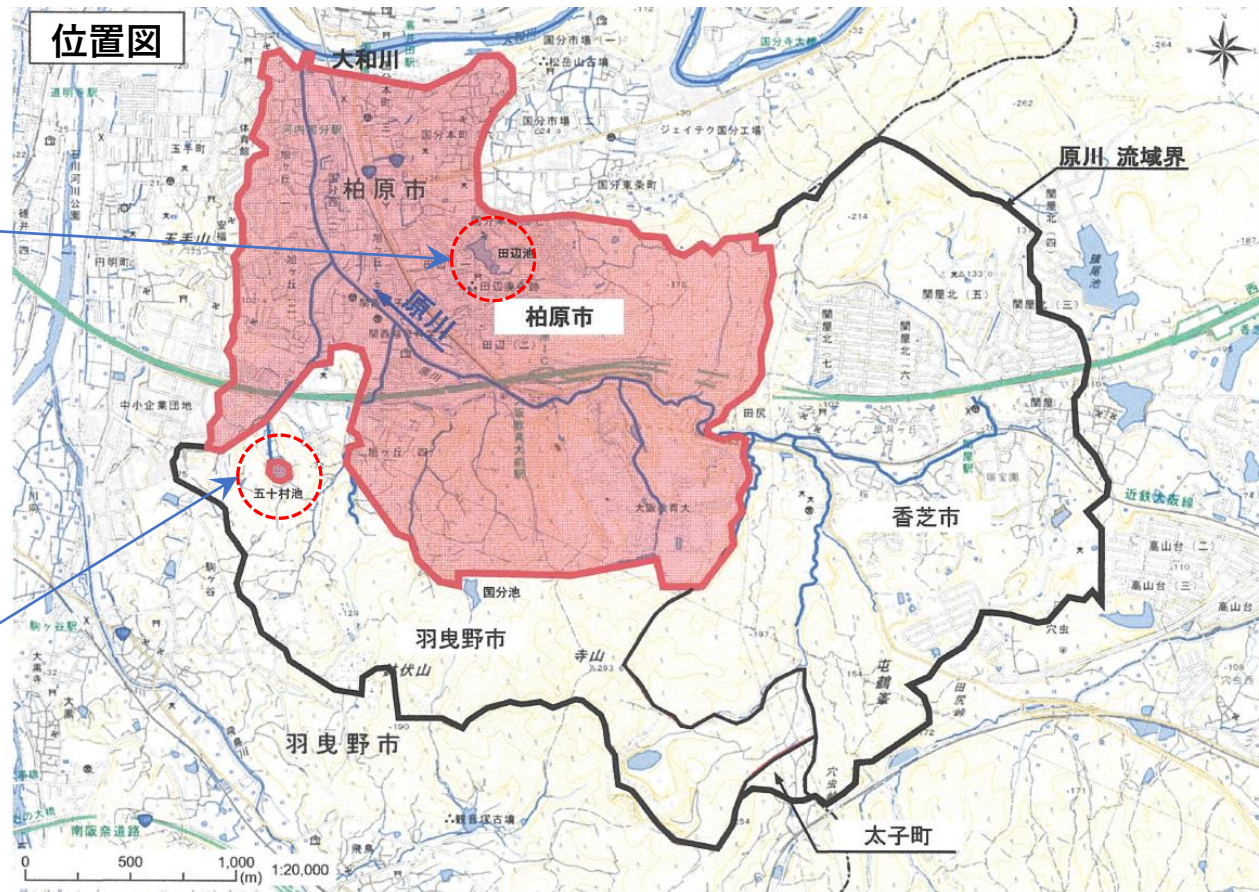
改良点と洪水調節効果

○田辺池

- ・余水吐きを40cm切り欠いた
- ・5年確率降雨で、原川流入部で約2.5^m³/sの洪水調節効果あり

○五十村（ゆうら）池

- ・余水吐きを50cm切り欠いた
- ・10年確率降雨で、原川流入部で約1.5^m³/sの洪水調節効果あり
- ・現在、貯留水がほとんどないため、より洪水調節効果を発揮している。
- ・羽曳野市域に位置しているが、柏原市が維持管理をしている。



○洪水調節効果を永続的に発揮できるよう講じた措置

- ・大阪府八尾土木事務所、中部農と緑の総合事務所、柏原市との3者間で、以下の覚書と協定書を締結した。
 大和川水系原川流域におけるため池の治水活用に関する覚書（令和5年12月22日締結）
 大和川水系原川流域における洪水対策に関する協定書（令和6年1月11日締結）

取組内容 地域の防災力強化を図る

地域で防災リーダーとして活躍いただいている防災士資格を取得された方や地域の防災活動の中心となる自主防災組織の方を主な対象として、地域の防災力強化を図ることを目的として、開催しました。



広島経済大学名誉教授による
「市民防災力を高めるために」～家庭の備えと地域の取組み～
をテーマとした講義を実施

取組内容 立地適正化計画における居住誘導区域の設定及び防災指針の策定を検討する

大阪狭山市立地適正化計画の策定（令和6年12月末予定）にあたり、人口分布や人口密度、都市機能の分布や誘導の方向性、地理的特徴や災害予測等を十分踏まえ、ハード・ソフトの両側面から必要な減災・防災対策の考え方について整理した上で、居住誘導区域の設定に向けた検討を行った。

